



CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

1

2023

vol.552



今月の
コーヒー

1月のおすすめ

サフラノヴァ (SAFRA NOVA)

—— ブラジル ——



年に一度のお楽しみ

今年のサフラノヴァは、高品質なコーヒーを産出するサンパウロ州の農園から収穫したばかりの新豆を船積。今回は新豆の中でも高品質なロットを選定。フルーティーで芳醇な風味の中に、確かな甘味とボディが感じられます。まさに、年に一度のお楽しみのコーヒーです!

新年ご挨拶



代表取締役社長 服部 雄高

日頃よりシーシーエスコーヒーをご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復と事態収束を祈念いたします。

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染の世界的な拡大から3年弱が経過しました。未だ小康状態と変異株の感染拡大の繰り返しに翻弄される日々が続いています。しかしながら、ワクチン接種や医療体制の拡充などにより、重症化リスクは低減されました。世界各国は感染の収束を見込んで経済活動の正常化を急ぎ、行動制限の緩和、撤廃を進めています。我が国においても、新型コロナの分類を速やかに再考することを求める表現を盛り込んだ感染症法改正案が昨年11月に可決されました。

2023年はいよいよ「withコロナ」から「afterコロナ」の時代へ。働き方や生活スタイル、価値観などの本格的なシフトチェンジがはじまる一年になると思います。

ここで昨年の業務用コーヒー市場を振り返ってみます。昨年3月の「まん延防止等重点措置」の解除以降、行動制限の緩和による外出機会の増加にともない、コーヒー消費量は徐々に回復しました。(社)日本フードサービス協会によると昨年10月度喫茶部門の売上動向はコロナ前19年比90.0%となり、全快までもう一息という状況です。店舗運営の現場では、様々な模索を経て、新しい行動様式が日常のものになったと感じています。

コーヒー生豆相場は、産地の天候不順による作柄懸念などにより、未だ高い水準で推移しています。加えて、為替の記録的な円安により、コーヒー生豆の調達コストは高値が継続しています。お客さまには大変厳しい環境の中、価格改定にご理解ご了承いただき、改めて御礼申し上げます。

喫茶・カフェ業界には明るい兆しも表れています。喫茶ブームが再到来。20~30代女性を中心に、若年層から昔ながらの喫茶メニューが注目を浴びています。「鉄板ナポリタン」「クリームソーダ」「パンケーキ」「プリン」「ピザトースト」など喫茶店の定番メニューです。弊社選りすぐりのお客さまを紹介する「美味しいコーヒーの店」でも、2023年受賞店の多くが、これら懐かしの喫茶メニューを看板メニューとし集客に成功しています。弊社では、これらをアピールする販促ツールをご用意しておりますので、是非活用いただければと思います。

またSDGsの普及により、昨年はフェアトレード認証コーヒーの問い合わせを多くいただきました。電通の調査によるとSDGsの認知率は86.0%に達し、ほぼ浸透したと考えられます。フェアトレードはSDGsの目標17項目全てに対し、直接的・間接的に関わっています。新旧、様々な業種・業態の企業、団体さまから企業姿勢をアピールするツールとしてフェアトレード認証コーヒーを扱いたいというお声を多くいただきました。

2020年度からの新学習指導要領にはSDGsが必修科目となり、子ども向けの絵本も出版されています。これから世界人口の約3割がZ世代以降になることを考えると、SDGsへの取り組みが、価格や品質と並ぶ商品の選択の判断基準になる日も近いことが予想されます。弊社も昨年5月に愛知県のSDGs登録制度に認証されました。登録にあたり掲げた目標の達成に向け活動して参ります。

コーヒー、喫茶・カフェは人々の生活を豊かにするかけがえのない存在であり、未だ大きな可能性を秘めていると考えます。シーシーエスコーヒーは「コーヒー＆コミュニケーション」を合言葉に、一粒一粒のコーヒーに真剣に向き合い、美味しいコーヒーをお届けすることにこだわります。

最後に、弊社は本年9月をもって創業70周年を迎えます。これもひとえに皆様方の温かいご支援とご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。1年、1月、1週間、1日…。お客さまとのひと時を大切に、今後も鋭意努力いたします所存でございます。

本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。



取締役営業本部長 德田 政司

日頃より一方ならぬご愛顧をいただき、心より感謝申し上げます。

この度、新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復と事態収束を祈念いたします。

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

終わりの見えない新型コロナウイルス被害に対し、ワクチン接種、治療薬の登場等、やっと出口が見えてきました。飲食店では新しいルールの導入や、様々な対策・対応が行われ、それぞれ定着してきました。これからは本格的な稼働に全力投球となります。常連客さまが戻ってくること、新たなお客様を迎えることへお力添えができますよう、実りあるご提案を継続して参ります。

産地の天候不順に加え、記録的な円安によるコーヒー生豆相場の高騰が続き、お客様へは価格改定をお願いすることになりました。高品質のコーヒーを安定的にお届けするためとご理解ご了承いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

昨年はコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻による物流の混乱、エネルギー価格の高騰などコーヒービジネスは世界情勢から大きく影響を受けることを改めて実感しました。このような環境の中においても、選りすぐりのコーヒー豆をお客さまにお届けできることに感謝し、今後も継続できるよう精進して参ります。

喫茶をめぐる環境にも良いムーブメントが起きております。古き良き喫茶文化にスポットライトが当たられ、ここ中部地方の喫茶文化が全国に紹介されています。みなさまが大切に育ててこられたメニューが注目されています。弊社もこの機会を逃さず、拡販のお手伝いができるようポスター等をご用意しておりますので、是非ご活用ください。

昨年導入をご報告した、ワンドリップコーヒー製造の機材も稼働をはじめ、小売商品のフルラインナップに向けていよいよ本格稼働に入ります。

本年もより一層のお引き立て、よろしくお願ひいたします。

発表!

美味しいコーヒーの店 2023

「美味しいコーヒーの店 2023」、認定店を発表!

認定店の詳細は、「美味しいコーヒーの店 2023」ガイドパンフレットをご覧ください。

カフェレスト サン 名古屋市西区名駅二丁目24-2 ☎052-581-6871

COFFEE たけ 名古屋市千種区仲田二丁目4-16 ☎052-761-4570



コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2023年
1月版

2021年コーヒー開発レポート発表

生産国で若者のコーヒー離れが課題



国際コーヒー機関(ICO)は、2021年コーヒー開発レポートで「生産国における若者のコーヒー産業離れ」が大きな課題であることを発表しました。世界的なコーヒー需要は増加する一方、コーヒー生産国における労働者の高齢化が進んでおり、近い将来、世界のコーヒー生産量と品質の両面で危機が到来するかもしれません。生産国の若者がコーヒー生産から遠ざかっている理由としては、急激な価格の変動、低賃金労働、アクセスの悪い場所・環境などを挙げています。本レポートは「コーヒー産業の繁栄と持続可能性こそが、生産国の若者の生活を確保する上で重要であり、つまるところ“若者はコーヒーを必要とし、コーヒーもまた若者を必要としている”」とまとめています。

W杯開催地カタールで味わう

無形文化遺産アラビアコーヒー



一見、お茶のような緑黄色の液体で、カルダモンの強い香りが漂うアラビアコーヒー。中東湾岸諸国ではおもてなしの象徴となっており、昨年のFIFAワールドカップ開催地カタールでも親しまれています。アラビア伝統のコーヒー「カフワ」は、コーヒー粉にカルダモンとサフランを加えて煮出したもので、カタールでは通常、男性だけの社交場「マジリス」で味わうことができます。一般家庭では、家長が客の前で淹れた温かいカフワを長男がサーブするのが慣わし。最近ではこのようなしきたりを超え、商業施設や文化施設でも「カフワ」が提供され、在住外国人や観光客もカタール文化を体験できるようになっています。約600年前にアラビア半島に伝わったコーヒーは、地域独自の儀式性をもとい、今ではアラビア、そしてカタール文化に不可欠なものになっています。

ラ・セーヌ

名古屋市港区小割通一丁目7-1 ☎052-651-7820

ay's café 大高店

名古屋市緑区大高町中川25-1 ☎080-4305-0770

喫茶 チャオ

刈谷市新栄町五丁目56-1 ☎0566-23-1327

Cafe 39's(ミックス)

豊田市高町東山132-10 ☎070-5332-2706

レスティハウス ファイン

岐阜県瑞穂市穂積1862-1 ☎058-327-1448



次世代へ伝えたいシーシーエス物語

おかげさまで70周年。シーシーエスの歴史を紐解きます。

第1回「シーシーエスコーヒー」社名の由来は?

当社の社名は歴史とともに変遷してきました。初代社長・服部留吉が1953年に創業した「服部コーヒー店」、1957年に合資会社化(1968年に株式化)の際に「中米珈琲商会」に改名、1995年に現在の社名「シーシーエスコーヒー」へ。今回はその由来をお話します。

1957年から38年間使われた社名「中米珈琲商会」。生産主要国が中米にあること、また他社名と重複しないことからこの社名が付けられました。「シーシーエスコーヒー」への改名のきっかけは1985年、ブランディングのためにCIを導入したことです。「中米珈琲商会(Chubei Coffee Shokai)」の頭文字「CCS」を新社名にすることを考えた2代目社長・服部卓也(現会長)は、視覚的に認識を深めるために、改名前にロゴを策定します(ロゴの意味は次号で)。しかし、突然の社名変更は当社を認識してもらえないなど混乱を招くため、ロゴの改定と同時に客先への訪問や電話の際に「CCS中米珈琲商会」と名乗り、「CCS」の社名を歳月をかけて浸透させます。そしてCI導入から10年。1995年に企業イメージの統一と変革の一貫として「シーシーエスコーヒー株式会社」への改名を正式に発表しました。

Q.改名して良かったことは?



代表取締役会長
服部 卓也

コーヒー業界の改名ブームに乗ったことでコーヒー屋としての認識が上がりました。

改名前は中「米」の文字から米屋さんとよく勘違いされていたが、お米に関連する問い合わせがなくなりました。

CCSがお届けする今月のニュース

名古屋のコーヒー店がコラボ! 名鉄商店からコーヒーギフト新発売!

昨年12月、名古屋駅前・名鉄百貨店本店メンズ館1Fに「名鉄商店」がオープンしました。「うれしいを、アゲる」をコンセプトに、愛知・岐阜の企業とコラボ。名鉄沿線地域の魅力・価値を再発見できるオリジナル商品だけを扱う新しいお土産屋さんです。今回、喫茶ニューポピー(西区那古野)、ダブルトールカフェ(中区大須)、弊社の3社がコラボしたコーヒーギフトを開発。「冬のコーヒー」をテーマに、シーンに合ったコーヒーを楽しめる3種類の飲み比べセットです。お近くにお越しの際は、ぜひ店舗にお立ち寄りください。

- 【refresh sunrise(写真左)】朝のひと口目にふさわしい透明感のあるブレンド:シーシーエスコーヒー
- 【lively daytime(写真中央)】友達や家族と楽しく会話をしながら飲みたいブレンド:喫茶ニューポピー
- 【concentrate evening(写真右)】仕事や勉強で集中したいときにぴったりなブレンド:ダブルトールカフェ



【名鉄商店】中村区名駅1-2-4 名鉄百貨店本店 メンズ館1F 営業時間:10:00~20:00

オンラインショップでもお買い求めいただけます。 [名鉄商店](#)

バレンタインドリップコーヒー & 珈琲チョコ

毎年恒例のバレンタイン限定「ドリップコーヒー」「珈琲チョコ」のご紹介です。ドリップは“コーヒーでありがとうの気持ちを伝える”をコンセプトにメッセージを記入できるスペースを用意しました。バレンタイン以外のシーンもご活用いただけます。バレンタインを演出する商材としていかがでしょうか?



◀バレンタイン限定
ドリップコーヒー
1セット(6杯分)～
※デザインは1種類



◀珈琲チョコ
1袋(100g)×5袋～
※既にお取り扱いのお客様には、
バレンタインシール1シート(12枚)
をご用意しています。

2022年 コーヒー業界重大ニュース(全日本コーヒー協会)

- 1 2021/22年度の世界のコーヒー消費量は2年連続で増加、前年度比3.3%増の見込み。
2022年の日本の消費量もコロナ禍での減少から回復し4年ぶりに増加に転じる見通し。
- 2 ロシアのウクライナ侵攻等による諸物価高騰、国際コーヒー相場は高値水準。
急速な円安も重なり各社、逐次価格改定。
- 3 「抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)」がコーヒーかすに代わる呼称へ。
全日本コーヒー協会はその有効活用について普及啓蒙を図る。
- 4 サステナブルなコーヒー調達に向けて産地での農事支援等の取り組みが活発化。
- 5 デカフェ(カフェインレス)コーヒーの輸入量が2年連続大幅増、過去最高を更新。
- 6 レトロブームを反映し、喫茶店に脚光。若年層も取り込む。
- 7 全日本コーヒー協会が、ホームページでの広報活動を強化。SDGsのページを刷新するとともに、広報誌「コーヒーブレイク」をWEBコンテンツとして提供。
- 8 オンラインイベント活況。産地ツアーや淹れ方教室、全日本コーヒー商工組合連合会は「レギュラーコーヒーフェア2022」をWEB開催。
- 9 パーソナルタイプコーヒーの拡大続く。一杯抽出(ドリップ)、ステック、カプセル等。
- 10 家庭用レギュラーコーヒーが多様化。カフェブランド商品や環境配慮型商品等。
- 11 コーヒーインストラクター検定、コロナ前の受け入れ人数に戻す。万全の感染対策を実施。



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

2月のおすすめ

コパー・デ組合 ローランドゴリラ

コンゴ民主共和国



国立公園内のローランドゴリラを含めた野生動物の保護にも貢献。

オレンジのような甘さとアフリカらしいボディ感のあるコーヒー

中央アフリカ・コンゴ民主共和国は、コーヒー産業が盛んな大地溝帯の西リフトバレーを国土に持ちます。広大なヴィルンガ国立公園にある「コパー・デ組合」は2014年に設立され、各集落がミニウェットミルを所有し品質向上に取り組んでいます。このヴィルンガ国立公園は、アフリカで最も生物多様性の高い保護地域で、絶滅危機種ローランドゴリラの生息地でもあります。ロンドンのNPO法人「Farm Africa」は、コーヒー栽培・精選技術の向上、環境保全活動のための教育などでコパー・デ組合を支援。ヴィルンガ国立公園周辺に住む人たちの生活が向上することで、ヴィルンガ内の乱開発や密猟に加担しないための抑止の狙いがあります。オレンジのような甘さとアフリカらしいボディ感のある素敵なおコーヒーです。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。



ポン・ボヤージュ コーヒー新時代を目指して -37-

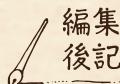
'Let's have a coffee' 何かあれば、このフレーズが聞こえるNY・マンハッタンにある超高層ビル「シナムビル」内の丸紅アメリカ社を訪れた。現在は、名前がメットライフビルに変わったが、1970年代は世界一周路線を持つ世界最大の航空会社パンアメリカン航空の本社ビルであった。地上59階、高さ250mの屋上からはJFK国際空港まで7分のヘリコプターによる運航が行われていた。

そのビルの28階から30階の3フロアが丸紅アメリカ社の広大なオフィスで、窓の向こうはエンパイア・ステートビルが眺められ、まるで映画のシーンのような

風景であった。コーヒー課は男性3名とアシスタントの女性2名の陣容で、お膝元のNYコーヒー取引所での売買、中南米のコーヒー産地との商い、日本をはじめ世界中のコーヒー会社への販売をこなしていると説明を受け、流石'ラーメンからミサイルまで'と謳われた商社の一端を見ることが出来た。

そんなオフィスには、「コーヒー・タバコ・おやつ等」を定期的に売りに来る、新幹線のワゴンサービスの様々な女性販売員が活動しており、ワン・クオーター(25セント)の安さで、紅茶のようなアメリカン・コーヒーを販売していた。

(会長 服部卓也)



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。規制も緩和され久しぶりに賑やかなお正月を過ごされた方も多いのではないでしょうか？私はなかなか地元には帰れませんが、冬に東北に行くのも大変です。景色は美しいですが、それ以上に雪の脅威は侮れません。今年はシーシーエス70周年の節目の年です。弊社の歴史を紐解く新連載も是非お楽しみください。

シーシーエスコーヒーニュース vol.552 2023年1月1日発行

シーシーエスコーヒー株式会社 〒464-0858 名古屋市千種区千種二丁目16番17号 Tel.052-741-3066 (代)

【夜間・休日緊急連絡先】 服部…052-775-5788 徳田…080-4833-6938 www.ccscoffee.co.jp